

「CAD/CAM レジン冠(保険適応)の予後調査」に関する研究

1. 研究の対象

2014 年 4 月～2023 年 12 月に当院口腔補綴科で小臼歯 CAD/CAM レジン冠治療を受けられた方。

2. 研究目的・方法

歯科治療において、むし歯などによって歯が大きく失われた場合、被せ物で形を補います。これまでの保険治療では金属による被せ物が一般的でしたが、近年メタルフリーの白い材料(CAD/CAM レジン冠)も保険適応となりました。奥歯には適応制限があるものの、現在すべての歯において白い材料(CAD/CAM レジン冠)が適応可能となりました。しかしながら、白い材料(CAD/CAM レジン冠)はこれまでの臨床研究において被せ物が外れやすいことが報告されています。トラブルの原因として考えられるのは被せ物を歯につけることを目的として歯科用の接着材の種類、被せ物をつける歯の形や大きさ、噛む力など様々な要因が関係しているのではないかとされています。ただし、根本的な原因はまだ解明されておらず、より確実性の高い被せ物の治療を行うために、さらなる研究が必要とされています。

そのために、本研究では当科にて装着された白い歯(CAD/CAM レジン冠)の予後調査を行い、特に外れやすいというトラブルに対する原因を解明することを目的としています。研究方法として、大阪大学歯学部附属病院 口腔補綴科で小臼歯に装着された CAD/CAM レジン冠の予後について診療録などを参考にして過去にさかのぼって調査を行います。研究期間は 2028 年 3 月 31 日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では 2014 年 4 月から 2023 年 12 月までに作製した小臼歯 CAD/CAM レジン冠の情報を作製記録から研究対象を抽出します。そして、作製記録と診療録から CAD/CAM レジン冠の材料、歯の状態、患者情報(年齢、性別等)、処置法等を確認します。また、診療録から CAD/CAM レジン冠の脱離、破損などのトラブル内容および発生日を調査します。診査結果は匿名化し、施錠された保管庫で厳重に保管します。したがって、研究に協力頂いた皆様のプライバシーは完全に保護されます。また、結果を保存するコンピューターにはパスワードを設定し、外部に情報が漏れないようにします。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 大阪大学歯学部附属病院 口腔補綴科

准教授 峯 篤史

大阪府吹田市山田丘 1-8

06-6879-2946

研究責任者: 大阪大学歯学部附属病院 口腔補綴科 准教授 峯 篤史